

再 評 価 調 書

I 事業概要						
事業名	農業農村整備事業（経営体育成基盤整備事業）					
地区名	開輪地区					
事業箇所	愛西市江西町外					
事業のあらまし	<p>本地区は愛知県西部の愛西市に位置し、一級河川木曾川と二級河川領内川に挟まれた水田を中心とする246.5haの優良な農業地域である。</p> <p>地区内の排水路は、1970年代にほ場整備事業等により造成されたが、造成後40年余りが経過しており、老朽化による水路の破損等が著しく、排水不良が生じている。</p> <p>また、本地区では農業従事者の高齢化や減少といった課題を抱えているため、生産基盤整備を進め、担い手への農地集積をする必要がある。</p> <p>このため、排水路を改修し、作物の湛水被害を防止するとともに、担い手への農地集積を促進することで、農業競争力の強化を図ることを目的とする本事業を2015年度から実施しており、2028年度に完了する計画である。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>排水路を改修し、作物の湛水被害を防止するとともに、担い手農家への農地利用集積を促進し、農業経営の改善・安定を図る。</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
計画変更の推移		事前評価時 (2014)	再評価時(1 回目)(2020)	再評価時(2 回目)(2025)	変動要因の分析	
	事業期間	2015～2020	2015～2027	2015～2028	地元調整による延伸	
	事業費(億円)	16.6	21.4	25.5		
	経費内訳	工事費	15.2	20.0	23.3	資材価格及び労務費の増 (2020年単価→2025年単価)
		用補費	0.3	0.3	0.5	補償物件精査による増
その他		1.1	1.1	1.7	労務費の増 (2020年単価→2025年単価)	
事業内容	排水路 30.7km	排水路 30.7km	排水路 30.7km			
II 評価						
① 事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>地区内の排水路は、老朽化により施設の維持に多大な労力を費やしている状況であり、担い手への集積が進まない要因となっている。</p> <p>担い手により将来にわたって地域の農業を支えることができるよう、生産基盤の整備をする必要がある。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>本事業による改修が現時点で未着手の排水路は、改修が必要な状況が継続している。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>未着手の排水路が担い手への農地集積の支障となっており、事業の必要性は依然として高い。</p>				
	判定	B	<p>A：事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B：事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C：事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p>			
		<p>【理由】</p> <p>施設の老朽化は改善されておらず、担い手への農地集積を促進するため、事業の必要性は事前評価時と同等である。</p>				

② 事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・排水路工</td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td>→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>前回計画</td> <td colspan="3">7.0</td> <td colspan="3">9.0</td> <td colspan="3">5.4</td> <td colspan="2"></td> <td>21.4</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="3">7.0</td> <td colspan="3">8.0</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="2"></td> <td>15.0</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="3">7.0</td> <td colspan="3">8.0</td> <td colspan="3">10.5</td> <td colspan="2"></td> <td>25.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>達成率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>排水路工(km)</td> <td>30.7</td> <td>17.5</td> <td>57%</td> <td>30.7</td> <td>57%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>21.4</td> <td>15.0</td> <td>70%</td> <td>25.5</td> <td>59%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>20.0</td> <td>14.3</td> <td>72%</td> <td>23.3</td> <td>61%</td> </tr> <tr> <td> 用地補償費</td> <td>0.3</td> <td>0.0</td> <td>0%</td> <td>0.5</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>1.1</td> <td>0.7</td> <td>64%</td> <td>1.7</td> <td>41%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】 排水路 L=17.5km</p> <p>【事後評価に準ずるフォローアップ】 該当なし。</p>		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	合計	工種区分	調査・設計	←													→	用地補償		←												→	工事															・排水路工		←												→	事業費(億円)	前回計画	7.0			9.0			5.4					21.4	実績	7.0			8.0								15.0	今回計画	7.0			8.0			10.5					25.5		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】	排水路工(km)	30.7	17.5	57%	30.7	57%	事業費(億円)	21.4	15.0	70%	25.5	59%	工事費	20.0	14.3	72%	23.3	61%	用地補償費	0.3	0.0	0%	0.5	0%	その他	1.1	0.7	64%	1.7	41%
		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	合計																																																																																																																																																
工種区分	調査・設計	←													→																																																																																																																																																	
	用地補償		←												→																																																																																																																																																	
	工事																																																																																																																																																															
	・排水路工		←												→																																																																																																																																																	
事業費(億円)	前回計画	7.0			9.0			5.4					21.4																																																																																																																																																			
	実績	7.0			8.0								15.0																																																																																																																																																			
	今回計画	7.0			8.0			10.5					25.5																																																																																																																																																			
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																																																																												
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】																																																																																																																																																											
排水路工(km)	30.7	17.5	57%	30.7	57%																																																																																																																																																											
事業費(億円)	21.4	15.0	70%	25.5	59%																																																																																																																																																											
工事費	20.0	14.3	72%	23.3	61%																																																																																																																																																											
用地補償費	0.3	0.0	0%	0.5	0%																																																																																																																																																											
その他	1.1	0.7	64%	1.7	41%																																																																																																																																																											
	2) 未着手又は長期化の理由	<p>地元調整の結果、施工箇所の地区内順序変更の要請があり、地元内の調整に不測の時間を要した結果、事業が遅延している。</p>																																																																																																																																																														
	3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 特になし。</p> <p>【今後の見込み】 今後、予算確保に努めながら事業の進捗を図り、予定工期内の完了を目指す。</p>																																																																																																																																																														
② 事業の進捗状況及び見込み	判定	<p>B</p> <p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○ これまで事業長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】 事業期間を延長したことにより、ほぼ計画通りの完成が見込まれるため。</p>																																																																																																																																																														

③ 事業の 効果の 変化	1) 貨幣価値化可能な効果(費用対効果分析結果)の変化	<p>【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析の算定基礎となった要因変化の有無】 事前評価時からの土地利用の大きな変化はない。</p> <p>【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析結果】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>事前評価時 (基準年: 2014)</th> <th>再評価時 (1回目) (基準年: 2020)</th> <th>再評価時 (2回目) (基準年: 2025)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">費用 (億円)</td> <td>当該事業による費用</td> <td style="text-align: right;">15.5</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">29.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他費用(注)</td> <td style="text-align: right;">61.2</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">124.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計(C)</td> <td style="text-align: right;">76.7</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">153.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">効果 (億円)</td> <td>作物生産効果</td> <td style="text-align: right;">21.8</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">59.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理費節減効果</td> <td style="text-align: right;">△ 2.8</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">△ 5.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>災害防止効果(農業関係資産)</td> <td style="text-align: right;">122.5</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">182.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>災害防止効果(一般資産)</td> <td style="text-align: right;">86.9</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">196.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>災害防止効果(公共資産)</td> <td style="text-align: right;">12.6</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">26.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国産農産物安定供給効果</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">4.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計(B)</td> <td style="text-align: right;">241.0</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">462.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">(参考) 算定要因</td> <td>水稲作付面積(ha)</td> <td style="text-align: right;">144.2</td> <td style="text-align: right;">144.2</td> <td style="text-align: right;">142.4</td> <td>本地面積</td> </tr> <tr> <td>普通畑作付面積(ha)</td> <td style="text-align: right;">91.7</td> <td style="text-align: right;">91.7</td> <td style="text-align: right;">90.8</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td>施設畑作付面積(ha)</td> <td style="text-align: right;">8.9</td> <td style="text-align: right;">8.9</td> <td style="text-align: right;">8.6</td> <td style="text-align: center;">"</td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用対効果分析結果(B/C)</td> <td style="text-align: right;">3.1</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: right;">3.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※金額は、社会的割引率(4%)を用いて現在の価値に換算したもの。 ※評価期間: 54年(当該事業の工事期間14年+40年) ※維持管理費節減効果は、施設が機能喪失した場合に安全管理上必要最低限となる維持管理費(事業なかりせば)と、計画施設の維持管理費(事業ありせば)の差額を効果額として算定するものであり、一般的にマイナス効果となる。</p> <p>注) 費用の内訳 ①当該施設 再整備費+事業着工時点の資産価格-評価期間終了時点の資産価格 ②当該施設と一体的に効用を発揮する関連施設(排水上位施設) 新規事業費+再整備費+事業着工時点の資産価格-評価期間終了時点の資産価格</p> <p>【貨幣価値化可能な効果(費用対効果)分析手法】 「新たな土地改良の効果算定マニュアル」(令和6年8月 農林水産省農村振興局整備部監修)による。</p> <p>【変動要因の分析】 前回評価時から大きな変動はない。</p>	区分		事前評価時 (基準年: 2014)	再評価時 (1回目) (基準年: 2020)	再評価時 (2回目) (基準年: 2025)	備考	費用 (億円)	当該事業による費用	15.5	-	29.3		その他費用(注)	61.2	-	124.4		合計(C)	76.7	-	153.7		効果 (億円)	作物生産効果	21.8	-	59.3		維持管理費節減効果	△ 2.8	-	△ 5.9		災害防止効果(農業関係資産)	122.5	-	182.5		災害防止効果(一般資産)	86.9	-	196.4		災害防止効果(公共資産)	12.6	-	26.0		国産農産物安定供給効果	-	-	4.6		合計(B)	241.0	-	462.9		(参考) 算定要因	水稲作付面積(ha)	144.2	144.2	142.4	本地面積	普通畑作付面積(ha)	91.7	91.7	90.8	"	施設畑作付面積(ha)	8.9	8.9	8.6	"	費用対効果分析結果(B/C)		3.1	-	3.0	
	区分		事前評価時 (基準年: 2014)	再評価時 (1回目) (基準年: 2020)	再評価時 (2回目) (基準年: 2025)	備考																																																																												
費用 (億円)	当該事業による費用	15.5	-	29.3																																																																														
	その他費用(注)	61.2	-	124.4																																																																														
	合計(C)	76.7	-	153.7																																																																														
効果 (億円)	作物生産効果	21.8	-	59.3																																																																														
	維持管理費節減効果	△ 2.8	-	△ 5.9																																																																														
	災害防止効果(農業関係資産)	122.5	-	182.5																																																																														
	災害防止効果(一般資産)	86.9	-	196.4																																																																														
	災害防止効果(公共資産)	12.6	-	26.0																																																																														
	国産農産物安定供給効果	-	-	4.6																																																																														
	合計(B)	241.0	-	462.9																																																																														
	(参考) 算定要因	水稲作付面積(ha)	144.2	144.2	142.4	本地面積																																																																												
		普通畑作付面積(ha)	91.7	91.7	90.8	"																																																																												
		施設畑作付面積(ha)	8.9	8.9	8.6	"																																																																												
費用対効果分析結果(B/C)		3.1	-	3.0																																																																														
2) 貨幣価値化困難な効果の変化	<p>【事前評価時の状況】 該当なし。</p> <p>【再評価時の状況】 事前評価時には記載しなかったが当初から発現が見込まれる効果として、生産性の高い農地を担い手に集積し、高収益な営農が将来にわたって継続されることにより、食料の安定供給が確保されるとともに、農地の保全が図られ、地域経済及び地域社会の持続が期待できる。</p> <p>【変動要因の分析】 該当なし。</p>																																																																																	

判定	A	<p>Ⓐ 前回評価時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。</p> <p>B：前回評価時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が確保される見通しがある。</p> <p>C：前回評価時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が確保される見通しが立たない。</p>
	【理由】	前回評価時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがあるため。
III 対応方針（案）		
継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業後の湛水被害の有無 ・担い手の農地利用面積・集積率 		
V 事業評価監視委員会の意見		
開輪地区の対応方針（案）[事業継続] を了承する。		
VI 対応方針		
事業継続		